

異なる分野協力による地域貢献事業の実践

— 伏古ふれあい祭りを例に

島名 毅 小山隼平 森 雅人

1. 概要

札幌東区の伏古商店街は、札幌市の推進する商店街活性化事業に参加しており、活動を実践するにあたり札幌大谷大学では「伏古発 たまちゃんアイス」¹の開発・調査、「パッケージ制作」「伏古商店街看板制作」事業等に取り組んで来た。

2016年度は、毎年夏に開催される「伏古ふれあい祭り」に際し、会場を盛り上げるイベントとして本学の知的財産を活用し、学科間の枠組みを越えた「伏古ふれあい祭りプロジェクト」を企画した。

キーワード：地域連携 共同制作 アートディレクション ブランディング

2. 企画の背景と経緯

現在、日本国内において問題になっている地域課題として、社会との関わりが少ない市民の増加や、地域課題の多様化から「暮らしやコミュニティ」における「創造性」が求められている。実際、札幌市では少子高齢化の急速な進行と人口減少社会の到来を見据え、地域問題の解決の手段として文化芸術の持つ「創造性」が、まちづくりに重要な役割を果たすとして「創造都市さっぽろ」を謳っている。

「創造性」というと、クリエイティブに関係する人の能力のように考えられがちであるが、本来は誰もが日常生活を送る際に「もっとこうしたい。もっとこうであればいいのに」という疑問に対し、乗り越えていく方法を探していくことである。このような考え方を実践する姿を地域住民に肌で感じてもらうことによって、プロジェクトに関わる学生はもちろん、地域住民も創造的な考え方を共有することが今後の日本・札幌市にとって大切と言える。

3. 『伏古ふれあい祭りプロジェクト』の実践

「伏古ふれあい祭りプロジェクト」を行うに際し、札幌大谷大学の強みを出すため、美術学科、音楽学科、地域社会学科の学生を募り、それぞれの特性を活かした発想を形にすることを目標とした。

① イベントの特徴

札幌市東区伏古商店街では毎年8月に「伏古ふれあい祭り」を開催しており、地域住人が大勢集まるイベントとして定着しているが、その中において低年齢層の参加が減っている状況がある。会場は伏古記念会館前の駐車場を会場としており、露店とステージを有し、カラオケ大会やお笑いライブ、和太鼓の実演、櫓を組んだ盆踊りなどが行われている。

② 企画内容の選定

企画の内容を選定するにあたって、以下のようなことに注目して検討した。

1. 若年齢層(子どもと親)にあたる世代が楽しめるイベントとなっているかについては疑問の余地があるため、子どもと親が参加しやすい仕掛けを考えること。
2. 札幌大谷大学が関わるからこそ出来ることを念頭におくこと。
3. 地域の活性化に繋がることを内包すること。

以上のことから

- 1'. 小さな子どもから小学生低学年を対象とした、塗り絵ワークショップ会場を用意することとした。
- 2'. 塗り絵のベースとなるイラスト作成(美術学科)、映像作成(美術学科・音楽学科・地域社会学科)、イベント進行・アンケート調査(地域社会学科)を実施することとした。

¹ 伏古発 たまちゃんアイスとは、札幌東区の特産品でもある玉ねぎ「札幌黄」をジャムにしたうえでアイスクリームに混ぜ込んだ伏古商店街で開発したアイスクリーム。定価250円。

3'. 「札幌黄」(特産の玉ねぎ)を練り込んだ、伏古商店街が開発したアイス「伏古発 玉ちゃんアイス」のプロモーションを兼ねることとした。

③ コンセプト

地域住民が集まるイベントということもあり、「伏古発 玉ちゃんアイス」を大勢の人に知ってもらうチャンスであることに注目し、軸をアイスに定めることで「玉ちゃんソング」を作成することとした。「伏古ふれあい祭り」はもちろん、「伏古発 玉ちゃんアイス」を販売している店舗などで流してもらうことにより、地域住民に広くアピールするためである。

祭り会場では、メインキャラクターでもある「玉ちゃん」の柄をあしらった「伏古発 玉ちゃんアイス」の広告入り団扇を配布することにより、若年層の家族に訴えかけ、塗り絵ワークショップに参加した後も熱い会場での涼をとることと、自宅まで持ち帰ることを意識した。この2点を両立させることにより、サスティナブルな効果を期待するものである。また、同時に味などの商品特性に関する調査を行うことにより、商品の完成度を高める効果を狙った。

④ プログラムのオプション制作(団扇制作・音楽制作・アンケート制作)

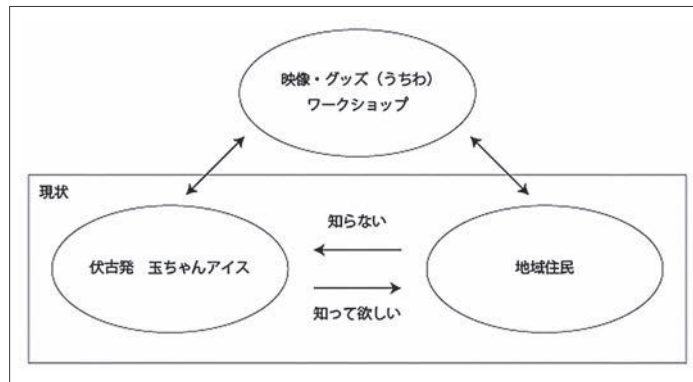


図1 伏古ふれあい祭りにおける地域貢献事業の概念図

玉ちゃん

作詞：玉ちゃんブレンズ (鶴名 佑美 小林 三奈 佐藤 美桜 薄田 有季) 作曲：佐藤 佑奈
歌・キャラクターデザイン：安藤 優美花

- | | |
|--|---|
| <p>1. たま たま たま たま 玉ちゃん
福々通りの玉ちゃん
伏古生まれの玉ちゃん
玉ちゃんアイスを食べるme〜?
たま たま たま たま 玉ちゃん</p> | <p>3. たま たま たま たま 玉ちゃん
ワクワクしちゃうね玉ちゃん
伏古のアイドル玉ちゃん
札幌黄を食べるme〜?
たま たま たま たま 玉ちゃん</p> |
|--|---|

2. たま たま たま たま 玉ちゃん
みんな大好き玉ちゃん
おいしく食べてね玉ちゃん
伏古商店街に来てme〜?
たま たま たま たま 玉ちゃん

あま〜い玉ねぎ札幌黄
シャキシャキシャキシャキ玉ねぎシャキッ☆
僕を食べれば風邪知らず!

この曲は札幌大谷大学 美術学科・音楽学科・地域社会学科と
伏古商店街の共同による制作物です。



図2 玉ちゃんソング CD ジャケット

⑤ イベント当日の様子



写真1好きな色で塗り絵うちわを塗ってもらう



写真2塗り絵ワークショップの様子



写真3玉ちゃんソングをステージにて発表

4. 音楽についての解説

「玉ちゃんソング」を作成するにあたり、低年齢層に親しみやすく、覚えやすい音楽にするべきであると考えた。一般的に、低年齢層を意識した音楽には、①歌詞に使用されていることばが平易なものであり、かつ繰り返しが多い、②リズムが単純である、③音域が広くない、④一つのフレーズが二小節ないし四小節で構成されている、⑤ことばの持つアクセントとメロディーの拍頭がある程度一致している、といった要素が多く含まれている。従って、この曲についても①～⑤の条件をなるべく満たすように意識した。歌曲の作成手順としては、メロディーを先に作ってから歌詞をそれにつけるという方法と、歌詞を作っておいてからそれに合うメロディーを作るという2種類の方法が存在する。このうち、条件⑤を満たしやすいのは後者であり、今回は歌詞を先に作成するという選択をした。

歌詞は、地域社会学科の学生が作成した。「玉ちゃん」ということばの繰り返しが多く含まれ、全体的にも平易なことばが使用されており、上記①の条件を満たしていた。

作曲は、音楽学科作曲コースの学生が担当した。作成する前に②～⑤の条件について確認し、2回の修正機会を設けて完成させた。

歌の旋律が完成した後、作曲者本人が編曲を行った。これについては、旋律が聴き取りやすく、なおかつリズムがわかりやすいものになることを念頭に置いた。前者に関しては、楽器編成をポピュラー音楽に見られる一般的なものに近い形にし、後者に関してはリズム楽器を使用することで解決した。

最後に、歌の録音を行った。上述した通り、ポピュラー音楽の文脈に近い形で作曲・編曲が行われていたので、本学の軽音部に所属していた卒業生に歌の演奏を依頼した。

玉ちゃんソング

作曲：佐藤怜奈

たまたまたまたま たまちゃん ふくふくどおりの たまちゃん

ふしこ うまれの たまちゃん たまちゃん アイスを たべて me ~?

たまたまたまたま たまちゃん たまたまたまたま たまちゃん

みんな だいすき たまちゃん おいしく たべてね たまちゃん

ふしこ しょうてんがいに きて me ~? たまたまたまたま たまちゃん

あま~ いたまねぎ さつ ぼろき しやしやしやしやしき たまねぎ しやし

ぼくを たべれば— かぜしらず

たまたまたまたま たまちゃん わくわくしちゃうね たまちゃん

ふしこの アイドル たまちゃん さつ ぼろきを たべて me ~?

たまたまたまたま たまちゃん

5.「玉ちゃんアイス」の顧客満足度

2016年8月6日(土)・7日(日)の両日、伏古記念館駐車場を会場に行われた「第15回 伏古ふれあい祭り」において、「伏古発 玉ちゃんアイス」購入者を対象にアンケート調査を実施した。表1に回答者の属性(年齢、性別、住所)の回答数を示した[表1]。属性と「伏古発 玉ちゃんアイス」の満足度(斬新さ、食感、見た目、味、大きさ・量、販売価格の6項目)との関係を明らかにするために相関分析を行ったが、いずれの項目においても有意な差は認められなかったことから、属性ごとの比較は行わなかった。満足度の評価は「とても良い」、「良い」、「どちらともいえない」、「あまり良くない」、「良くない」とした。質問ごとに、5段階に対する回答数と平均を算出し、グラフ化した[図3]。「とても良い」、「良い」が多かったのは「斬新さ」であった。

表1 属性データの度数分布 (n=41)

年齢・性別・住所		人	比率
年齢	10代	9	21.95%
	20代	7	17.07%
	30代	4	9.76%
	40代	5	12.20%
	50代	4	9.76%
	60代	3	7.32%
	70代	9	21.95%
性別	男	21	51.22%
	女	20	48.78%
住所	伏古	20	48.78%
	伏古以外	21	51.22%

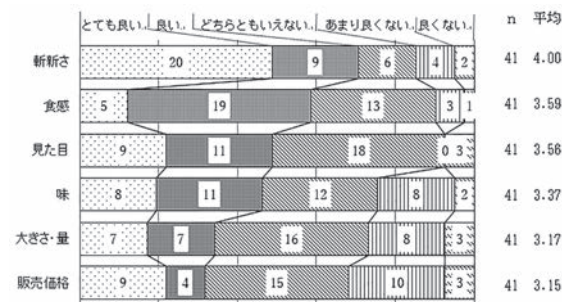


図3 満足度

次に、「販売価格」に対する改善項目を明らかにするために、満足度(平均)と重要度(単相関係数)を算出し、グラフ化した[図4]。これにより、「販売価格」に対する重要度が高いにもかかわらず、「満足度」が低い「味」と「大きさ・量」は、速やかに改善すべき、との結果を得た。

さらに、満足度と重要度の偏差値を求め、優先的に改善すべき項目を算出した[表2]。その結果、「大きさ・量」の改善度が18.67と大きいことから、「伏古発 玉ちゃんアイス」の最優先改善項目であることが明らかとなった。

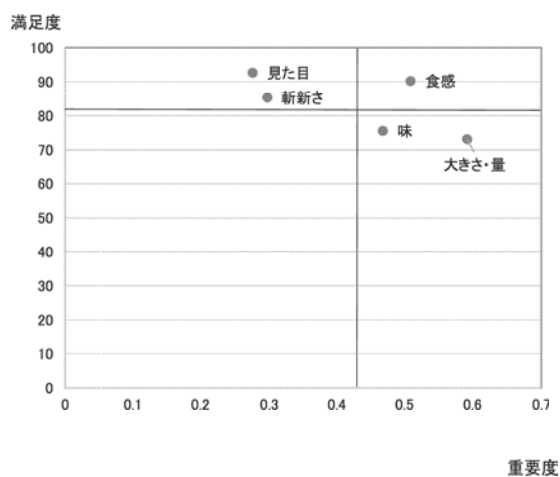


図4 CS グラフ

表2 評価項目改善度

	満足率	相関係数	満足率 偏差値	相関係数 偏差値	角度	修正 指数	距離	改善度
味	75.6	0.4687	39.96	53.26	27.00	0.700	10.56	7.39
見た目	92.7	0.2757	61.92	37.56	178.78	-0.986	17.23	-17.00
食感	90.2	0.5089	58.78	56.53	98.37	-0.093	10.95	-1.02
大きさ・量	73.2	0.5925	36.82	63.33	0.34	0.996	18.74	18.67
斬新さ	85.4	0.2972	52.51	39.31	148.22	-0.647	10.98	-7.10

6. まとめ

今回の「伏古ふれあい祭りプロジェクト」は、地域連携事業の中でも、ご当地グルメ商品のブランディングを軸としたサステナブルな効果を狙った企画に当たり、札幌大谷大学として美術学科、音楽学科、地域社会学科が協働することにより、企画の幅を大きく広げることが可能であることの証明である。

しかし一方で、今回のプロジェクトを通して制作した「玉ちゃんソング」が今後どこまで定着するかについては、伏古商店街の積極的な協力が不可欠であり、今後の展開については継続的なアプローチが必要と考えている。

今後の地域づくりというものは、1つの分野で行うものではなく、様々な専門領域と結びつき、響きあうことで完成していくのではないだろうか。